

令和6年能登半島地震における 被災地支援本部員会議(第2回)

令和6年1月16日

令和6年能登半島地震の被害状況等について

○被害の状況

人的被害（石川県発表）	死者	222	名
	[うち災害関連死者	14	名]
	安否不明者	26	名
住家被害（消防庁発表）	全壊	398	棟
	半壊	668	棟

○避難の状況（内閣府発表）

避難所数	416	箇所
避難者数	20,125	名

人的支援の状況について

国・全国知事会を通じた要請に対応 ・派遣中

DHEAT (道の災害時健康危機管理支援チーム)	1 / 8から道の医師・保健師らで構成する1チーム(5名)を 派遣中
道の保健師等チームの派遣	1 / 16から道の保健師らで構成する1チーム(4名)を 派遣中
道の一般職員派遣	1 / 7から23名を 派遣中 (避難所支援業務20名、リエゾン3名)
DMAT (災害派遣医療チーム)	1 / 8から医師・看護師らで構成するチームを順次 派遣 (1 / 15まで全18チーム)
DPAT (災害派遣精神医療チーム)	1 / 15から医師・看護師らで構成する1チームを 派遣中

・準備中

道の技術職員派遣 (被災建築物応急危険度判定、被災宅地危険度判定、廃棄物対策等)	今後、要請に応じ即応できるよう 調整中
---	-------------------------------

※その他、市町村や道防災会議構成機関から**派遣中**

現地の活動状況等について

・道の一般職員派遣（輪島市）

➤ **活動状況**（救援物資拠点の整備、物資の在庫管理等）



➤ **生活状況**（日本航空高等学校校舎）



物的支援等の状況について

・道の支援

被災者等の受入	道内13市で道営住宅を 45戸確保
	学校法人日本航空学園・石川キャンパスの学生の千歳キャンパスへの受入に関する協力依頼があり、日本航空大学校の教職員向けに千歳市内の道営住宅の確保について 調整中

・市町村の支援

物的支援	寝袋や保存食の 提供
被災者等の受入	105市町村で公営住宅を 1,019戸確保

・道との協定締結企業等の支援

物的支援	食料品や飲料水、ポータブル発電機、粉・液体ミルク、簡易トイレ、毛布やタオル等生活日用品などを 提供
------	--

資金支援の状況について

- ・ 日本赤十字社・中央共同募金会で義援金・支援金を**受付中**

日本赤十字社	令和6年能登半島地震災害義援金（1／4～）
中央共同募金	令和6年能登半島地震災害義援金（1／5～）
	災害ボランティア・NPO活動サポート募金（1／2～）

- 道職員による義援金の募集を、1／9から19までの間、**実施中**
後日、日本赤十字社を通じ**被災県へ贈呈**
- 道議会として、全議員からの拠出により総額200万円を**贈呈予定**
- 市町村や協定締結企業等において義援金等の支援を**実施**
- 1／10から「ふるさと納税」や「義援金」を通じた支援への協力を呼び掛ける
知事メッセージを発出、HPへの掲載

これらの情報は、「**令和6年能登半島地震における被災地支援状況**」として
取りまとめ、道ホームページに**掲載中**（1／12～）